

入 札 説 明 書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則（平成17年米子市規則第106号）及び米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知のうえ参加してください。

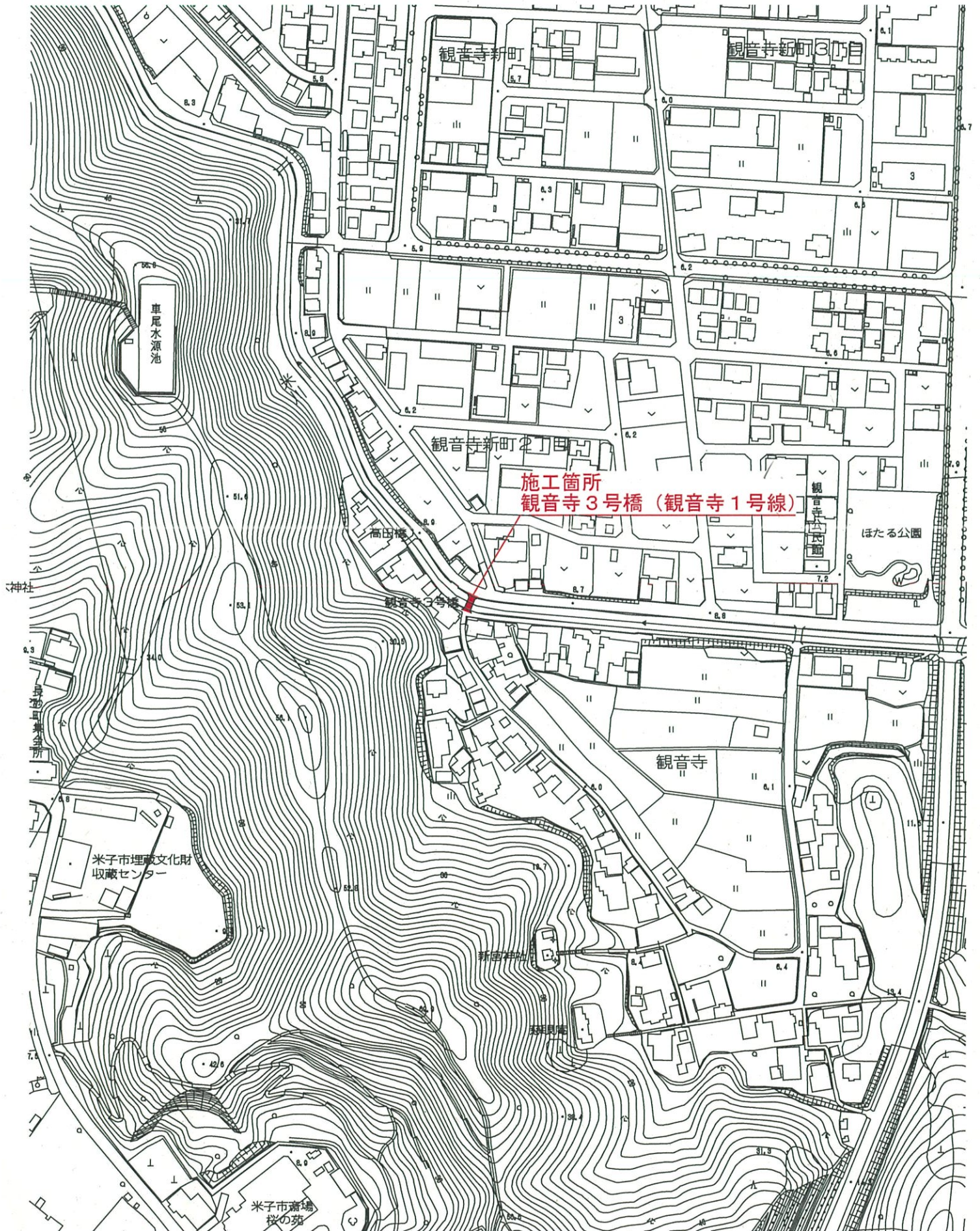
記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工 事 名	市道観音寺1号線観音寺3号橋ほか2橋りょう補修工事		
	工 事 場 所	米子市観音寺、観音寺新町二丁目地内ほか	工期	契 約 日 から 令和7年2月28日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所 担 当 課		米子市総務部契約検査課 道路整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和6年9月18日 午前10時0分 開札 本庁舎202会議室	
契 約 保 証 に 関 する 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結			
前 払 金 部 分 払	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する 注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7. 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3（ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。）以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8. 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格（円未満切捨て（単価契約を除く。））とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。 11. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事（通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。）に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等（主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。）は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係（第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。）が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する 注 意 事 項	1. 工事設計図書 別紙のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するように努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格		¥48,670,600		
最低制限価格		(直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費5.5/10)×1.1		

工 事 設 計 書

令和 6 年度	工事名	市道観音寺 1 号線観音寺 3 号橋ほか 2 橋りょう補修工事				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額						
	円					
工 期	契約日 から 令和7年2月28日 まで					
工 事 場 所	米子市 観音寺、観音寺新町二丁目 地内ほか					
工 事 概 要	観音寺1号線観音寺3号橋 橋長L=9.40m 幅員W=4.8m					
	富士見町南紺屋町線瑜伽堂橋 橋長L=8.4m 幅員W=2.3m					
	三本松6号線柳橋 橋長L=8.4m 幅員W=6.9m					
	橋梁補修工 一式 橋梁付属物工 一式 橋梁付属物工 一式					
	仮設工 一式 橋梁補修工 一式 橋梁補修工 一式					
	仮設工 一式 仮設工 一式					

位置図



位置図



位置図



工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道観音寺1号線観音寺3号橋ほか2橋りょう補修工事					事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘 要	
		単位	数値					
本工事費								
橋梁保全工事【観音寺3号橋】		式						
橋梁補修工		式						
ひび割れ補修工		式						
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 エポキシ樹脂系 補修延べ延長2.4m	構造物	1	1			
伸縮装置設置取替工	伸縮装置撤去	鋼製スライドジョイント	m	1	12			
		スクラップ	t	0.1	0.2			
	構造物とりこわし工	無筋	m 3	1	1			
	殻運搬	Co殻運搬 運搬距離7.6k m	m 3	1	1			
		現場発生品及び支給品運搬 スクラップ	t	0.1	0.2			
	殻処分	Co殻処分費 無筋	t	1	2			
	伸縮装置設置	鋼製スライドジョイント 材料・スタッドボルト打設共	m	1	12			
橋面補修工			式					
	舗装版撤去	AS舗装版破碎 舗装版厚4cmを超え10cm以下	m 2	1	40			
	殻運搬	殻運搬 運搬距離12.6k m	m 3	1	2			
	殻処分	処分費 AS殻	t	1	5			
	橋面防水	塗膜系防水	m 2	1	40			
	舗装打替え工	再生密粒度アスコン (20・再生材) 表層t=50mm	m 2	1	40			
仮設工			式	1	1			

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道観音寺1号線観音寺3号橋ほか2橋りょう補修工事					事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
			単位	数値				
橋梁保全工事【瑜伽堂橋】			式					
橋梁付属物工			式					
水切り工			式					
	水切り工	水切り設置工 EPDM系ゴム製水切り材	m	1		17		
橋梁用防護柵工			式					
	橋梁用高欄	高欄	m	1		17		
	橋名板		枚	1		4		
	殻運搬	殻運搬 木材 運搬距離19.3 k m	t	1		2		
	殻処分	処分費 木材	t	1		2		
橋梁補修工			式					
ひび割れ補修工			式					
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 エポキシ樹脂系 補修延べ延長9.9m	構造物	1		1		
断面修復工			式					
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.313m ³	構造物	1		1		
		断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含まない 修復延べ体積0.128m ³	構造物	1		1		
遊間止水工								
	ゴム劣化取替	SMジョイント(I型)同等品以上	m	1		4		
	構造物とりこわし工	コンクリート舗装版破碎 t=3cm	m ³	0.1		0.1		
	舗装版切断	AS舗装 t=15cm以下	m	1		4		
	舗装版撤去	AS舗装版破碎 舗装版厚4cm以下	m ²	0.1		0.1		
運搬・処分		殻運搬 (Co殻) 運搬距離5.9 k m	m ³	0.1		0.4		
		殻運搬 (AS殻) 運搬距離9.3 k m	m ³	0.001		0.004		
	殻処分	Co殻処分費 無筋	t	1		1		
		処分費 AS殻	t	0.01		0.01		
仮設工			式			1		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道観音寺1号線観音寺3号橋ほか2橋りょう補修工事					事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
			単位	数値				
橋梁保全工事【柳橋】			式					
橋梁付属物工			式					
水切り工			式					
	水切り工	水切り設置工 EPDM系ゴム製水切り材	m	1		17		
橋梁補修工			式					
ひび割れ補修工			式					
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 エポキシ樹脂系 補修延べ延長3.6m	構造物	1		1		
断面修復工			式					
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.073m ³	構造物	1		1		
		添え筋	t	0.001		0.003		
	殻運搬	殻運搬 運搬距離3.2km	m ³	0.1		0.1		
	殻処分	Co殻処分費 無筋	t	0.1		0.2		
橋面補修工			式			1		
	舗装版撤去	AS舗装版破碎 舗装版厚4cmを超え10cm以下	m ²	1		50		
	殻運搬	殻運搬 運搬距離7.7km	m ³	1		3		
	殻処分	処分費 AS殻	t	1		6		
	橋面防水	塗膜系防水	m ²	1		50		
	舗装打替え工	再生密粒度アスコン（20・再生材） 表層t=50mm	m ²	1		50		
	路面表示	停止線 実線 30cm	m	1		3		
仮設工			式			1		

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成 17 年 11 月 15 日付第 200500080172 号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和6年6月1日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	① （他工事等との調整） ② （部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④ （余裕期間設定工事） ⑤ （鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 _____本工事_____の施工時間は、<u>8:30</u> ～ <u>17:00</u> とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	① （用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ② （支障物件） ③ （立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>14</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 _____名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>34</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水処理濁水	① （濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地） ④（土質改良プラント）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。 建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり_____円を_____に支払うこと。 建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1 m³当たり_____円を_____に支払うこと。
	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ⑤（分別解体等） ⑥（他工事等流用） ⑦（再資源化施設への搬出） （施設の名称・受入れ費用）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m³当り_____円（本工事では断面修復工内で見込んでいる） コンクリート塊（鉄筋） 1 m³当り_____円 アスファルト塊 1 m³当り_____円（本工事では舗装版撤去内で見込んでいる） 建設発生木材 1 m³当り_____円 [Co 雑割材・_____]は、_____市・町・村_____地内_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにmanifestoを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊（無筋） <u>米子</u> 市・町・村 <u>夜見町</u> 地内の <u>（有）大成商事</u> （運搬距離：工事数量総括表記載）、費用 1 t 当り <u>1,200</u> 円 コンクリート塊（有筋） _____市・町・村_____地内の_____ （運搬距離_____km）、費用 1 t 当り_____円 アスファルト塊 <u>米子</u> 市・町・村 <u>和田町</u> 地内の <u>カネックス(株)</u> （運搬距離：工事数量総括表記載）、費用 1 t 当り <u>1,300</u> 円 その他（木くず） <u>境港</u> 市・町・村 <u>西工業団地</u> 地内の <u>環境緑地（株）</u> （運搬距離 <u>19.3</u> km）、費用 1 t 当り <u>15,000</u> 円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。
	⑧（木材市場等へ売却） ⑨（最終処理等） ⑩（産業廃棄物の処理に係る税）	_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1 t 当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにmanifestoを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	① （建設発生土の使用） ② （再生資材の使用）	_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C 〇 雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生クラッシャーラン〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：R S ー _____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度 As _____ 〕は、使用箇所：_____ 表層 _____ に使用する。 5) その他再生資材〔資材名：_____ 〕〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。
工事用道路	① （農地の一時転用について） ② （農地の賃貸借）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 ア _____ の用途に使用するため、_____ 市・町・村 _____ 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備		

現場説明書

特記事項4

その他	①（労災補償に必要な保険の付保）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
	②（現場環境改善）	
	③（経費対象外・スクラップ費について）	既設伸縮装置の撤去に伴うスクラップ費用については、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象額に含めない。なお、スクラップ費として1t 当り 40,000 円を想定している。

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()	
工事の種類		☐ 新築工事 ☒ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☐ その他()	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 <u>不明</u> その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☒ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 <u>10</u> m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他(道路内での作業)	
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>4~6</u> m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他()	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	☐ 有() ☒ 無	
	その他		周辺住民への周知
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン	
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	使用部分又は発生が見込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	1.2トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ 建設発生木材	トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

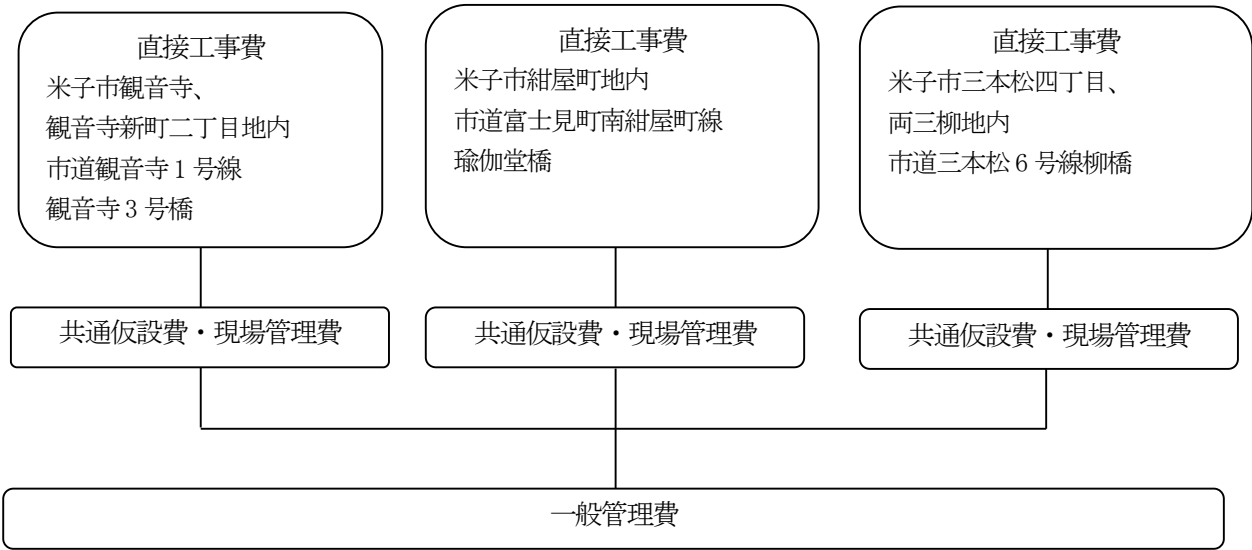
□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

施工箇所が点在する工事の間接工事費の積算方法 現場説明書

本工事における一般管理費は、施工箇所毎に分けない積算と同様とするが、共通仮設費及び現場管理費の金額は、工事箇所毎に算出した共通仮設費及び現場管理費を合計した金額としている。なお、共通仮設費率、現場環境改善費率、及び現場管理費率の補正については、工事箇所毎に設定している。一般管理費算出時の共通仮設費率、及び現場管理費率にかかる施工地域を考慮した補正は、市道観音寺1号線観音寺3号橋の設計書で設定した係数とする。

工事箇所名	施工箇所名
米子市観音寺、観音寺新町二丁目地内	市道観音寺1号線観音寺3号橋
米子市紺屋町地内	市道富士見町南紺屋町線瑜伽堂橋
米子市三本松四丁目、両三柳地内	市道三本松6号線柳橋

《工事費体系イメージ図》



積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-00020-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.08.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 02 率計上する（市街地） 11 市街地(DID補正) 01 金銭保証（ 0 . 0 4 % ） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
橋梁保全工事										Y1G03	(レ^\ Ⅱ1)
橋梁補修工	観音寺3号橋				一式					Y1G0324	(レ^\ Ⅱ2)
ひび割れ補修工					一式					Y1G032404	(レ^\ Ⅱ3)
低圧注入工法					一式					Y1G03240402	(レ^\ Ⅱ4)
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合					構造物					S1020035 00	
										A=1,B=0.192,C=2,D=0.576,E=3,F=11	
伸縮装置取替工		1			構造物					単第0 -0001 表	060810
										Y3999	(レ^\ Ⅱ3)
伸縮装置撤去										Y4999	(レ^\ Ⅱ4)
伸縮装置撤去工										V0001 00	
		12			m					単第0 -0002 表	060810

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ						Y4999 (レベル4)
スクラップ 鉄くず ヘビー H 1						TTU0052 00
	0.2	t				060810 8
構造物とりこわし工(無筋構造物)						Y1A01140601 (レベル4)
		m3				
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工						SDT00031 00 A=1,B=2,D=1
	1	m3				単第0 -0003 表 060810
殻運搬						Y1A01141601 (レベル4)
		m3				
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)						SPK23040152 00 A=1,B=1,C=2,D=34,E=1
	1	m3				単第0 -0004 表 060810
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)						SPK23040410 00 A=1,B=2,C=5
	0.2	t				単第0 -0005 表 060810
投棄料						#0041 C=投棄料
		一式				
処分費 コンクリート殻 無筋 (有)大成商事						TTV0430 00
	2	t				060810

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮装置設置					Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
伸縮装置設置工					V0002 00
	12	m			単第0 -0006 表 060810
伸縮装置材料費					V0003 00
	1	一式			単第0 -0007 表 060810
スタッドボルト打設					V00010 00
	3	日			単第0 -0008 表 060810
橋面補修工					Y3999 (レ^\ Ⅱ3)
舗装版撤去					Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下	40	m2			SPK23040305 00 A=1,B=2,D=5,F=1,G=1 単第0 -0009 表 060810
殻運搬		m3			Y1A01141601 (レ^\ Ⅱ4)
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離15.0km以下(11.0km超)	2	m3			SPK23040152 00 A=3,B=4,C=2,D=51,E=1 単第0 -0010 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
投棄料						#0041 C=投棄料
			一式			
処分費 アスファルト殻						TTV0431 00
カネックス（株）	5	t				060810
橋面防水						Y4999 (レバ Ⅱ4)
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系						SS000255 00 A=1
	40	m2				単第0 -0011 表 060810
橋面防水材料費						V1001 00
	1	一式				単第0 -0012 表 060810
アスファルト舗装						Y4999 (レバ Ⅱ4)
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm						SPK23040241 00 A=4, B=50, C=9, E=5, G=1, H=1, I=1
	40	m2				単第0 -0013 表 060810
仮設工						Y1G0328 (レバ Ⅱ2)
			一式			
交通管理工						Y1G032821 (レバ Ⅲ3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員						Y1G03282101 (レベル4)
			人			
交通誘導警備員B						R0369 00
	9		人			060810 1
* * 直接工事費 * *						
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
* * 共通仮設費計 * *						
* * 純工事費 * *						
現場管理費						
* * 工事原価 * *						

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率分							
契約保証費							
一般管理費計							
* * 工事価格 * *							
* * 消費税相当額 * *							
* * 工事費計 * *							

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
土木補修用エポキシ樹脂注入材 1 種	0.192	kg			F0000000001 県単価
シール材	0.789	kg			F0000000002 県単価
低圧注入器具	11.000	個			F0000000003 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.192 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.576 シール材の設計数量(kg/構造物) F=11 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 0.576000000 * (1 + 0.37) = 0.789(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

伸縮装置撤去工

V0001

施 工 単 価 表

単第0 -0002 表

頁0-0009

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工	1	m			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

SDT00031

単第0 -0003 表

構造物とりこわし工(無筋構造物)
人力施工

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001567
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 D=1 時間的制約なし			B=2 人力施工		

施工単価表

頁0-0011

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0004 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35%

労務構成比:

42.40%

材料構成比: 15.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

頁0-0012

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0005 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 14.21%

労務構成比:

82.66%

材料構成比:

3.13%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=5 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2 DID区間有り		

伸縮装置設置工

V0002

施 工 単 価 表

単第0 -0006 表

頁0-0013

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮装置設置工	1	m			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	m			

伸縮装置材料費

V0003

施工単価表

単第0 -0007 表

頁0-0014

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スーパーガイトップジョイント SGTd-K30TB相当	11.6	m			W0001 見積り
フィラープレート 195×1 SUS304	18.4	kg			W0001 見積り
フィラープレート 195×16 SS400ジंक塗装	291.4	kg			W0001 見積り
樹脂モルタル	4	箱			W0001 見積り
シール材 シリコン系	0.95	L			W0001 見積り
ウレタンフォーム 軟質	7.13	L			W0001 見積り
諸雑費	1	一式			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

スタッドボルト打設

V00010

施 工 単 価 表

単第0 -0008 表

頁0-0015

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スタッドボルト打設	1	日			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	日			

施工単価表

頁0-0016

舗装版破碎
アスファルト舗装版

SPK23040305

障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下

単第0 -0009 表

1

m2 当り

機械構成比： 1.98% 労務構成比： 95.51%

材料構成比： 2.51%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5～3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.54%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5～3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.44%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	52.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=5 舗装版厚4cmを超え10cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害有り F=1 積込作業有り		

施工単価表

頁0-0017

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比： 19.19% 労務構成比： 71.06%

SPK23040152
DID区間有り 運搬距離15.0km以下(11.0km超)

材料構成比： 9.75% 市場単価構成比： 0.00%

単第0 -0010 表

標準単価： 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
一般運転手	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=51 運搬距離15.0km以下(11.0km超)		

施 工 単 価 表

SS000255

単第0 -0011 表

橋面防水工(補修) 塗膜系防水
アスファルト系

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			TSD00273
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 -					

施 工 単 価 表

橋面防水材料費

V1001

単第0 -0012 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ステンレス製排水用導水管 φ18	20.6	m			W0001 建設物価8月P227
アスファルト舗装用成型目地材 ボンドテープ（高弾性）30mm×5mm 相当	21.7	m			W0001 建設物価8月P226
床版防水用端末処理材 シルバーメッシュテープ相当	19.7	m			W0001 建設物価8月P226
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

頁0-0020

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0013 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比： 1.68%

労務構成比：

10.95%

材料構成比： 87.37%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	1.13%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.18%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	2.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0021

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

SPK23040241

1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0013 表

1

m2 当り

機械構成比: 1.68%

労務構成比: 10.95%

材料構成比: 87.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
改質アスファルト混合物 密粒 (2 0) ポリマー改質 型	86.66%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0043 TTPT00284
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.63%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=9 改質As 密粒 I型(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.08.10(0) 1 公共	当初	06-*****-00021-10		
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 02 率計上する（市街地） 11 市街地(DID補正) 01 金銭保証（ 0 . 0 4 % ） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
橋梁保全工事							Y1G03 (レ^\ Ⅱ1)
瑜伽堂橋 橋梁付属物工				一式			Y1G0321 (レ^\ Ⅱ2)
水切り設置工				一式			Y3999 (レ^\ Ⅱ3)
水切り設置工				一式			Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
水切り設置工 EPDM系ゴム製水切り材				一式			V0001 00
橋梁用高欄工		17	m				単第0 -0001 表 060810
							Y1G032106 (レ^\ Ⅱ3)
橋梁用高欄				一式			
							Y1G03210601 (レ^\ Ⅱ4)
防護柵取替工 再生木材高欄				m			V10001 00
		17	m				単第0 -0002 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋名板 ブロンズ3字程度 300×150×13					TTL0105 00
	4	枚			060810
殻運搬					Y1A01141601 (レバ Ⅱ4)
		m3			
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離20.0km以下(17.0km超)					SPK23040410 00 A=1,B=2,C=15
	2	t			単第0 -0003 表 060810
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
処分費 木材					TTV0432 00
					060810
環境緑地(株) 県単価	2	t			
橋梁補修工					Y1G0324 (レバ Ⅱ2)
		一式			
ひび割れ補修工					Y1G032404 (レバ Ⅲ3)
		一式			
低圧注入工法					Y1G03240402 (レバ Ⅳ4)
		構造物			
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合					S1020035 00 A=6,B=2.599,C=2,D=2.376,E=3,F=43
	1	構造物			単第0 -0004 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工						Y1G032405 (レバ Ⅲ3)
			一式			
左官工法						Y1G03240501 (レバ Ⅲ4)
			構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積 0.313 m3	1		構造物			S1020041 00 A=0.313,B=5,C=0.313 単第0 -0005 表 060810
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積 0.128 m3	1		構造物			S1020045 00 A=0.128,B=5,C=0.128 単第0 -0006 表 060810
遊間止水工						Y4999 (レバ Ⅲ4)
ゴム劣化取替 SMジョイント(型)同等品以上	4		m			V1002 00 単第0 -0007 表 060810
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.1		m3			SDT00031 00 A=1,B=2,D=1 単第0 -0008 表 060810
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	4		m			SPK23040306 00 A=1,B=1,E=1 単第0 -0009 表 060810
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cm以下	0.1		m2			SPK23040305 00 A=1,B=2,D=4,F=1,G=1 単第0 -0010 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬					Y1A01141601 (レバⅡ4)
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.4	m3			SPK23040152 00 A=1,B=1,C=2,D=34,E=1 単第0 -0011 表 060810
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.004	m3			SPK23040152 00 A=1,B=1,C=2,D=44,E=1 単第0 -0012 表 060810
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 コンクリート殻 無筋 (有)大成商事	1	t			TTV0430 00 060810
処分費 アスファルト殻 カネックス(株)	0.01	t			TTV0431 00 060810
仮設工		一式			Y1G0328 (レバⅡ2)
朝顔防護足場 TYPE-E、シート+板張防護 現場環境条件補正：1.0 橋梁架設工事の積算 P4-13	15	m2			V0019 00 単第0 -0013 表 060810
交通管理工		一式			Y1G032821 (レバⅢ3)

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員						Y1G03282101 (レベル4)
			人			
交通誘導警備員B						R0369 00
			人			060810
	4					1
* * 直接工事費 * *						
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
* * 共通仮設費計 * *						
* * 純工事費 * *						
現場管理費						
* * 工事原価 * *						

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率分							
契約保証費							
一般管理費計							
工事価格							
消費税相当額							
工事費計							

水切り設置工
EPDM系ゴム製水切り材

V0001

施工単価表

単第0 -0001 表

頁0-0008

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2	人			RTPC00001 9
普通作業員	4	人			RTPC00002 9
EPDM系ゴム製水切り材	100	m			F0000000022 見積り
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

V10001

単第0 -0002 表

1 m 当り

防護柵取替工
再生木材高欄

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生木材高欄	1	m			W0001 見積り
取替工	1	m			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0-0010

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0003 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離20.0km以下(17.0km超)

1

t 当り

機械構成比： 14.21%

労務構成比：

82.66%

材料構成比：

3.13%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=15 片道運搬距離20.0km以下(17.0km超)			B=2 DID区間有り		

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0004 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001
普通作業員	1.800	人			RTPC00002
土木補修用エポキシ樹脂注入材 3 種	2.599	kg			F0000000006
シール材	3.255	kg			F0000000002
低圧注入器具	43.000	個			F0000000003
諸雑費	6	%			見積り #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=6 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=2.599 注入材の必要数量(kg/構造物) D=2.376 シール材の設計数量(kg/構造物) F=43 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 2.376000000 * (1 + 0.37) = 3.255(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積 0.313 m3

単第0 -0005 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	7.199	人			RTPC00009
特殊作業員	11.894	人			RTPC00001
普通作業員	7.825	人			RTPC00002
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.369	m 3			F000000005
諸雑費	11	%			県単価 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.313 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.313 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=5	【F】断面修復材(m3)	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D2 = 0.313000000 / 0.1 * 2.3 = 7.199$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.313000000 / 0.1 * 3.8 = 11.894$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.313000000 / 0.1 * 2.5 = 7.825$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = $0.313000000 * (1 + 0.18) = 0.369$ (m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020045
修復延べ体積 0.128 m3

単第0 -0006 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.432	人			RTPC00009
特殊作業員	4.096	人			RTPC00001
普通作業員	2.688	人			RTPC00002
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.151	m 3			F000000005
諸雑費	9	%			県単価 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.128 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.128 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=5	【F】断面修復材(m3)	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D4 = 0.128000000 / 0.1 * 1.9 = 2.432$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D4 = 0.128000000 / 0.1 * 3.2 = 4.096$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D4 = 0.128000000 / 0.1 * 2.1 = 2.688$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = $0.128000000 * (1 + 0.18) = 0.151$ (m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0014

ゴム劣化取替
SMジョイント(型)同等品以上

V1002

単第0 -0007 表

3.863 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1	人			RTPC00009
特殊作業員	1	人			RTPC00001
普通作業員	4	人			RTPC00002
SMジョイント 型 材料費	1	セット			W0001
バックアップ材共					見積り
機械損料	1	台			W0001
ハンドミキサー、ハンドカッター、発電機					見積り
*** 合計 ***	3.863	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

SDT00031

単第0 -0008 表

構造物とりこわし工(無筋構造物)
人力施工

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001567
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 D=1 時間的制約なし			B=2 人力施工		

施工単価表

頁0-0016

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK23040306

アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0009 表

1

m 当り

機械構成比： 6.05%

労務構成比：

55.50%

材料構成比： 38.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm	4.09%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 φ 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ(550mm)	35.21%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン レギュラー スタンド	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0-0017

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK23040306

アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0009 表

1

m 当り

機械構成比： 6.05%

労務構成比：

55.50%

材料構成比： 38.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

頁0-0018

舗装版破碎
アスファルト舗装版

SPK23040305

障害有り 舗装版厚4cm以下

単第0 -0010 表

1

m2 当り

機械構成比： 1.74% 労務構成比： 96.06%

材料構成比： 2.20%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5～3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.35%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5～3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.39%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	53.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	42.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=4 舗装版厚4cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害有り F=1 積込作業有り		

施工単価表

頁0-0019

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0011 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比： 42.35%

労務構成比：

42.40%

材料構成比： 15.25%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

頁0-0020

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0012 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35%

労務構成比:

42.40%

材料構成比: 15.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

頁0-0021

朝顔防護足場

TYPE-E、シート+板張防護

V0019

現場環境条件補正：1.0

單第0 -0013 表

1

m2 当り

[illegible]

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-00021-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.08.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 02 率計上する(市街地) 11 市街地(DID補正) 01 金銭保証(0.04%) 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休2日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
橋梁保全工事										Y1G03	(レ^\ Ⅱ1)
柳橋 橋梁付属物工					一式					Y1G0321	(レ^\ Ⅱ2)
水切り設置工					一式					Y3999	(レ^\ Ⅱ3)
水切り設置工					一式					Y4999	(レ^\ Ⅱ4)
水切り設置工 EPDM系ゴム製水切り材					一式					V0001	00
橋梁補修工		17		m						単第0 -0001 表	060810
					一式					Y1G0324	(レ^\ Ⅱ2)
ひび割れ補修工											
					一式					Y1G032404	(レ^\ Ⅱ3)
低圧注入工法											
					一式					Y1G03240402	(レ^\ Ⅱ4)
					構造物						

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合					S1020035 00 A=6,B=0.288,C=2,D=0.864,E=3,F=15
	1	構造物			単第0 -0002 表 060810
断面修復工					Y1G032405 (レ^\ Ⅱ3)
		一式			
左官工法					Y1G03240501 (レ^\ Ⅱ4)
		構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合					S1020039 00 A=5,B=0.073
	1	構造物			単第0 -0003 表 060810
鉄筋工 SD345 D16 ~ D25 一般構造物 [規]10t未満					SS000099 00 A=1,B=6,D=1,E=1,F=2,H=1,I=1,J=1,K=1
	0.003	t			単第0 -0004 表 060810
殻運搬					Y1A01141601 (レ^\ Ⅱ4)
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)					SPK23040152 00 A=1,B=1,C=2,D=14,E=1
	0.1	m3			単第0 -0005 表 060810
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
処分費 コンクリート殻 無筋 (有)大成商事					TTV0430 00
	0.2	t			060810

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面補修工						Y3999 (レハ ⁺ Ⅱ3)
舗装版撤去						Y4999 (レハ ⁺ Ⅱ4)
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下						SPK23040305 00 A=1, B=2, D=5, F=1, G=1
	50	m2				単第0 -0006 表 060810
殻運搬						Y1A01141601 (レハ ⁺ Ⅱ4)
		m3				
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)						SPK23040152 00 A=3, B=4, C=2, D=35, E=1
	3	m3				単第0 -0007 表 060810
投棄料						#0041 C=投棄料
		一式				
処分費 アスファルト殻						TTV0431 00
						060810
カネックス(株)	6	t				
橋面防水						Y4999 (レハ ⁺ Ⅱ4)
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系						SS000255 00 A=1
	50	m2				単第0 -0008 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面防水材料費					V1001 00
	1	一式			単第0 -0009 表 060810
アスファルト舗装					Y4999 (レバ Ⅱ4)
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚 5 0 mm	50	m2			SPK23040241 00 A=4,B=50,C=9,E=5,G=1,H=1,I=1 単第0 -0010 表 060810
路面表示					Y4999 (レバ Ⅱ4)
		一式			
区画線設置(溶融式) 実線_30cm	3	m			SDT00001 00 A=1,B=1,C=3,D=1,E=1,F=1,G=1,H=1,I=2,J=1 単第0 -0011 表 060810
仮設工					Y1G0328 (レバ Ⅱ2)
		一式			
交通管理工					Y1G032821 (レバ Ⅲ3)
		一式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 (レバ Ⅱ4)
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	21	人			060810 1

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 直接工事費 * *						
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
* * 共通仮設費計 * *						
* * 純工事費 * *						
現場管理費						
* * 工事原価 * *						
一般管理費率分						
契約保証費						

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費計							
工事価格							
消費税相 当額							
工事費計							

水切り設置工
EPDM系ゴム製水切り材

V0001

施工単価表

単第0 -0001 表

頁0-0008

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2	人			RTPC00001 9
普通作業員	4	人			RTPC00002 9
EPDM系ゴム製水切り材	100	m			F0000000022 見積り
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0002 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
土木補修用エポキシ樹脂注入材 3 種	0.288	kg			F0000000006 県単価
シール材	1.184	kg			F0000000002 県単価
低圧注入器具	15.000	個			F0000000003 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=6 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.288 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.864 シール材の設計数量(kg/構造物) F=15 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率)			= 0.864000000 * (1 + 0.37)		= 1.184(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め

施工単価表

頁0-0010

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020039
修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0003 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.300	人			RTPC00009 9
特殊作業員	3.800	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.500	人			RTPC00002 9
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.086	m 3			F0000000005 県単価
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=5 【F】断面修復材(m3)			B=0.073	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = 0.073000000 * (1 + 0.18) = 0.086(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

頁0-0011

鉄筋工
SD345 D16 ~ D25

SS000099

単第0 -0004 表

一般構造物 [規]10t未満

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 加工・組立共	1.000	t			TSPC00001
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345D16 ~ D25	1.030	t			TTPCD0072 1*1.03
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=6 SD345_D16 ~ D25 E=1 - H=1 - J=1 -		
I=1 - K=1 -					

施工単価表

頁0-0012

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0005 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35%

労務構成比:

42.40%

材料構成比: 15.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

施工単価表

頁0-0013

舗装版破碎

アスファルト舗装版

機械構成比： 1.98% 労務構成比： 95.51%

SPK23040305 障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下

材料構成比： 2.51%

単第0 -0006 表

1

m2 当り

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5～3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.54%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5～3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.44%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	52.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=5 舗装版厚4cmを超え10cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害有り F=1 積込作業有り		

施工単価表

頁0-0014

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比：

19.19%

労務構成比：

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)

71.06%

材料構成比：

9.75%

市場単価構成比：

0.00%

単第0 -0007 表

1

標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
一般運転手	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=35 運搬距離8.0km以下(6.5km超)		

施 工 単 価 表

SS000255

単第0 -0008 表

橋面防水工(補修) 塗膜系防水
アスファルト系

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			TSD00273
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 -					

施 工 単 価 表

橋面防水材料費

V1001

単第0 -0009 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ステンレス製排水用導水管 φ18	18.8	m			W0001 建設物価8月P227
アスファルト舗装用成型目地材 ボンドテープ（高弾性）30mm×5mm 相当	16.9	m			W0001 建設物価8月P226
床版防水用端末処理材 シルバーメッシュテープ相当	16.1	m			W0001 建設物価8月P226
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

頁0-0017

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0010 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚 5 0 mm

1

m2 当り

機械構成比： 1.68%

労務構成比：

10.95%

材料構成比： 87.37%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	1.13%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.18%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	2.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0018

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

SPK23040241

1層当り平均仕上厚 5 0 mm

単第0 -0010 表

1

m2 当り

機械構成比: 1.68%

労務構成比: 10.95%

材料構成比: 87.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
改質アスファルト混合物 密粒 (2 0) ポリマー改質 型	86.66%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0043 TTPT00284
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.63%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=9 改質As 密粒 I型(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		

施 工 単 価 表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0011 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】_豪雪 実線_30cm 時間的制約なし	1,000.000	m			TDT000037
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,186.500	kg			T1080019
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	52.500	kg			T1080035
プライマー トラフィックペイント接着用	52.500	kg			T1080029
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	74.550	L			TTPC00013
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=3 実線_30cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=2 豪雪地域の場合			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

1,000 m 当り

区画線設置(溶融式)
実線 30cm

SDT00001

施工単価表

単第0 -0011 表

頁0-0020

1,000

m

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考

観音寺3号橋 数量計算書

設計数量総括表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
橋梁保全					式	1	
	橋梁補修工				式	1	
		ひびわれ注入工			式	1	
			エポキシ樹脂系	ひび割れ延長 平均幅 0.55mm	m	2.4	
			注入材	エポキシ樹脂系注入材1種	kg	0.192	
			シール材	エポキシ樹脂シール材	kg	0.576	
			注入器具		本	11	
		伸縮装置取替工			式	1	
			既設伸縮装置撤去	鋼製スライドジョイント	m	11.6	
			パラペット撤去	取壊し	m3	0.78	
				スクラップ	t	0.22	
				殻運搬	m3	0.78	
				現場発生材運搬	t	0.22	
				殻処分	t	1.84	
			鋼材ガス切断		箇所	8	主桁端部
			パラペット復旧	コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	0.3	
				型枠 鉄筋構造物	m2	1.1	
			伸縮装置設置工	荷重支持型片側床版用 ジョイント 30mm用	m	11.6	
		橋面補修工			式	1	
			舗装版破砕工	直接掘削積込 舗装版厚：10cm以下	m2	40.32	
			運搬処理工	殻運搬	m3	2.02	
				殻処分	t	4.75	
			アスファルト補修工	再生密粒度アスコン 表層5cm	m2	40.32	
			橋面防水工	塗膜系加熱防水層	m2	40.32	
			導水パイプ	$\phi 18$	m	20.64	
			成形目地材		m	21.65	
			端部目地処理	シルバーメッシュ同等品以上	m	19.68	

3. コンクリート補修数量集計表

[illegible]

3-1 上下部エコンクリート補修数量

(1) 上部工

位 置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)						ひびわれ充填工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (無収縮モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)	
	0. 2mm～0. 9mm		1. 0～1. 9mm		2. 0～ 5. 0mm		d= 1cm		鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積	鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積
	m						m		m2	m3	m2	m3
地覆1	0. 2											
2	0. 4											
3	0. 2											
4	0. 2											
5	0. 3											
6	0. 2											
7	0. 2											
8	0. 2											
9	0. 5											
小 計	2. 4		0. 0		0. 0		0. 00		0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

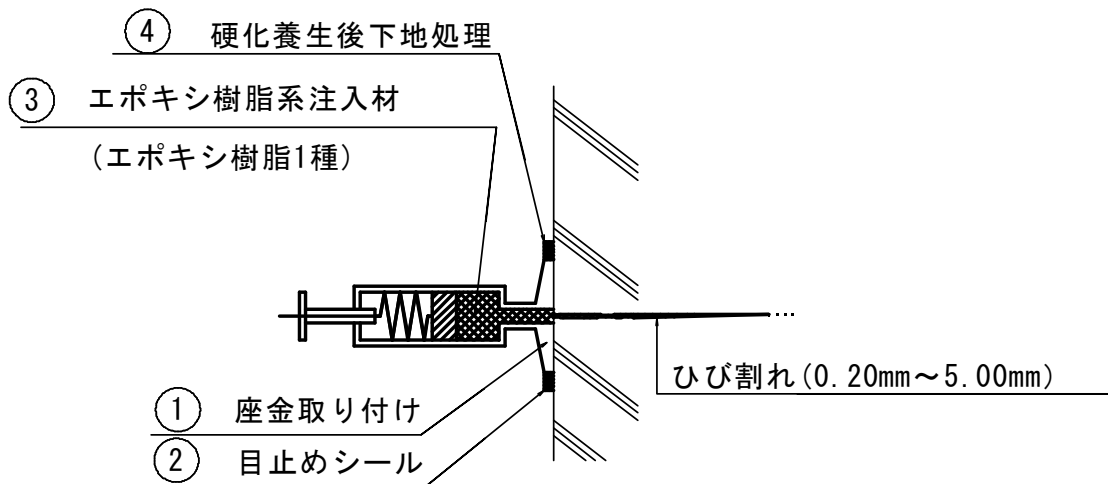
3-2 ひびわれ注入工 数量計算書

ひび割れ幅 0.2mm～0.9mm

1 橋当り

略 図

エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（上部工）地覆



※低圧注入器の取付ピッチは250mm(4個/m)を標準とする。
※注入深さは110mm程度を見込んでいる。

材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	2.40
注入材	0.00055*0.110*2.4*1150*1.15		
エポキシ樹脂系注入材1種	ひび割れ幅…0.20～0.90mm（平均幅0.55mm） 平均注入深さ…110mm 材料密度…1150kg/m ³ ロス率…15%	kg	0.192
シール材	0.050*0.003*2.4*1600		
エポキシ樹脂シール材	シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m ³	kg	0.576
注入器具	2.4/0.25+1 取付間隔…250mm	本	11

5. 伸縮装置取替工

5-1 既設伸縮装置撤去工

(1) 既設伸縮装置撤去 鋼製スライドジョイント

$$L = \underset{\text{A1側}}{4.000} + \underset{\text{A2側}}{7.600} = 11.60 \text{ m}$$

材料表

品 名	仕 様	単 位	A1	A2	合 計	備 考
既設伸縮装置撤去	鋼製スライドジョイント	kg	79.76	143.34	223.1	A1側 : 4.40x0.225x0.01x7850kg/m ³ =77.72kg パラペット前面鋼材W=2.04kg A2側 : 8.00x0.225x0.01x7850kg/m ³ =141.30kg パラペット前面鋼材W=2.04kg

(2) パラペット撤去 コンクリート取壊し

A1側

$$V = 0.275 \times 0.21 \times 4.80 = 0.28 \text{ m}^3$$

A2側

$$V = 0.275 \times 0.21 \times 8.70 = 0.50 \text{ m}^3$$

合計 0.78 m³

殻運搬

$$V = \text{コンクリート取壊しより} = 0.78 \text{ m}^3$$

殻処分

A1側

$$V = 0.28 \times 2.35 = 0.66 \text{ t}$$

A2側

$$V = 0.50 \times 2.35 = 1.18 \text{ t}$$

合計 1.84 t

(3) 鋼材ガス切断 主桁端部

$$N = \underset{\text{A1側}}{4} + \underset{\text{A2側}}{4} = 8 \text{ 箇所}$$

(4) パラペット復旧 コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$

A1側

$$V = 0.275 \times 0.08 \times 4.80 = 0.11 \text{ m}^3$$

A2側

$$V = 0.275 \times 0.08 \times 8.70 = 0.19 \text{ m}^3$$

合計 0.30 m³

型枠 鉄筋構造物

A1側

$$V = 0.08 \times 4.80 = 0.38 \text{ m}^2$$

A2側

$$V = 0.08 \times 8.70 = 0.70 \text{ m}^2$$

合計 1.08 m²

5-2 伸縮装置設置工

- (1) 荷重支持型片側床版用ジョイント 30mm用

$$L = \underset{\text{A1側}}{4.000} + \underset{\text{A2側}}{7.600} = 11.6 \quad \text{m}$$

- (2) 二次止水材(連続止水材本体取付型) 30mm用

$$L = \underset{\text{A1側}}{4.000} + \underset{\text{A2側}}{7.600} = 11.6 \quad \text{m}$$

- (3) 超速硬コンクリート 3時間圧縮強度=24N/mm²

$$V = \underset{\text{A1側}}{0.17} + \underset{\text{A2側}}{0.32} = 0.49 \quad \text{m}^3$$

- (4) 樹脂モルタル メタクリル

$$V = \underset{\text{A1側}}{0.17} + \underset{\text{A2側}}{0.32} = 0.49 \quad \text{m}^3$$

- (5) シール材 シリコーン系(プライマー含む)

$$V = \underset{\text{A1側}}{0.40} + \underset{\text{A2側}}{0.55} = 0.95 \quad \text{L}$$

- (6) ウレタンフォーム 軟質

$$V = \underset{\text{A1側}}{3.00} + \underset{\text{A2側}}{4.13} = 7.13 \quad \text{L}$$

- (7) 補強鉄筋 SD345 D16

$$W = \underset{\text{A1側}}{12.5} + \underset{\text{A2側}}{23.7} = 36.2 \quad \text{kg}$$

- (8) コンクリートアンカー 本体打ち込み式 SD345 D16c. t. c. 200

$$N = \underset{\text{A1側}}{40} + \underset{\text{A2側}}{76} = 116 \quad \text{本}$$

- (9) フィラープレート

w200×t1 SUS304

$$W = \underset{\text{A1側}}{6.3} + \underset{\text{A2側}}{12.1} = 18.4 \quad \text{kg}$$

w200×t6 SS400

$$W = \underset{\text{A1側}}{100.5} + \underset{\text{A2側}}{190.9} = 291.4 \quad \text{kg}$$

6. 橋面補修工

(1) 舗装版破碎工

舗装版厚：4cmを超え10cm以下

$$A = \text{CAD求積} = 40.32 \text{ m}^2$$

(2) 廃材運搬工（既設アスファルト厚：5cm）

$$V = 40.32 \times 0.05 = 2.02 \text{ m}^3$$

(3) 廃材処分 As比重 23.5 kN/m³ ÷ 2.35 t/m³

$$W = 2.02 \times 2.35 = 4.75 \text{ t}$$

(4) アスファルト舗装工

再生密粒度アスコン（20・再生材） 表層：5cm

$$A = \text{CAD求積} = 40.32 \text{ m}^2$$

(5) 橋面防水工

塗膜系加熱防水層

$$A = \text{CAD求積} = 40.32 \text{ m}^2$$

(6) 導水パイプ（φ18、ロス率 1.05）

$$L = 9.83 \times 2 \times 1.05 = 20.64 \text{ m}$$

(8) 成形目地材（ロス率 1.05）

$$L = (0.91 + 0.17 + 6.46 + 1.07 + 0.30 + 1.40) \times 2 \times 1.05 = 21.65 \text{ m}$$

(9) 端部目地処理 シルバーメッシュ同等品以上

$$L = (0.91 + 6.46 + 1.07 + 1.4) \times 2 = 19.68 \text{ m}$$

瑜伽堂橋 数量計算書

設計数量総括表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
橋梁保全					式	1	
	橋梁補修工				式	1	
		ひびわれ注工			式	1	
			エポキシ樹脂系	ひび割れ延長	m	9.90	
			注入材	エポキシ樹脂系注入材3種	kg	2.599	
			シール材	エポキシ樹脂シール材	kg	2.376	
			注入器具		本	43	
		断面修復工			式	1	
			左官工法	コンクリートはつり 平均厚さ t=50mm	m2	8.81	
				体積計上分	m3	0.44	
			ポリマーセメントモルタル	鉄筋ケレン,防錆処理を含む	m3	0.313	
			ポリマーセメントモルタル	鉄筋ケレン,防錆処理を含まない	m3	0.128	
		水切り設置工			式	1	
			設置工	ウォーターカッター相当品	m	16.8	
		遊間止水工			式	1	
			ゴム劣化取替工法	SMジョイント(I型) 同等品以上	m	3.683	
			コンクリート舗装取壊し	無筋コンクリート	m3	0.1	
			アスファルト舗装切断	t=15cm以下	m	3.863	
			アスファルト舗装破碎	t=4cm以下	m2	0.12	
		運搬処分	Co殻運搬処理工	殻運搬	m3	0.4	断面修復工、遊間止水工
				殻処分	t	1.0	断面修復工、遊間止水工
			As殻運搬処理工	殻運搬	m3	0.004	遊間止水工
				殻処分	t	0.009	遊間止水工
		防護柵取替工			式	1	
			既設防護柵撤去	木製	t	1.95	
			運搬処理工	殻運搬	t	1.95	
				殻処分	t	1.95	
			防護柵設置工		m	16.80	
		仮設工			式	1	
			片側朝顔防護足場	タイプE	m2	15.31	

[illegible][illegible]

3-1 上下部エコンクリート補修数量

(1) 上部工

位 置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)						ひびわれ充填工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)	
	0. 2mm～0. 9mm		1. 0～1. 9mm		2. 0～ 5. 0mm		d= 1cm		鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積	鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積
	m						m		m2	m3	m2	m3
床版下面1	0. 6								0. 35			
2	0. 6								0. 50			
3	1. 0								0. 50			
4									0. 35			
5									0. 12			
6									0. 12			
7									0. 06			
8									0. 05			
9									2. 04			
10									2. 16			
小 計	2. 2		0. 0		0. 0		0. 00		6. 25	0. 00	0. 00	0. 00
橋面1			1. 8									
2			1. 0									
3	0. 4											
4	0. 5											
5	1. 3											
6	0. 7											
7	1. 4											
8	0. 6											
小 計	4. 9		2. 8		0. 0		0. 00		0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

(2) 下部工

位 置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)						ひびわれ充填工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)	
	0.2mm～0.9mm		1.0～1.9mm		2.0～ 5.0mm		d= 1cm		鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積	鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積
	m						m		m2	m3	m2	m3
A1橋台1											2.10	
A2橋台2											0.46	
小 計	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	2.56	0.00

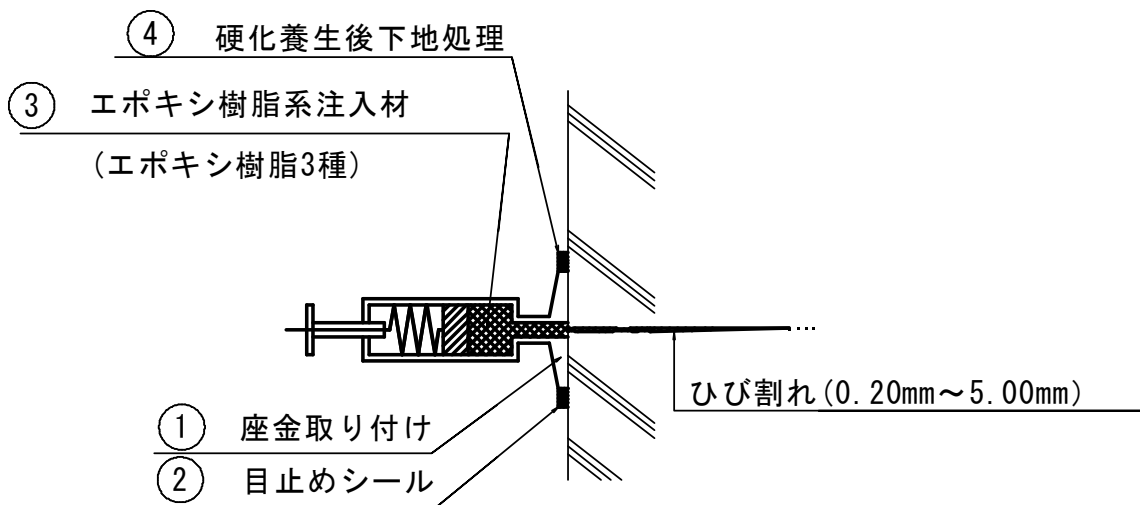
3-2 ひびわれ注入工 数量計算書

ひび割れ幅 0.2mm～0.9mm

1 橋当り

略 図

エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（上部工）床版



※低圧注入器の取付ピッチは250mm (4個/m) を標準とする。
※注入深さは110mm程度を見込んでいる。

材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	2.20
注入材	0.00055*0.110*2.2*1150*1.15		
エポキシ樹脂系注入材3種	ひび割れ幅…0.20～0.90mm (平均幅0.55mm) 平均注入深さ…110mm 材料密度…1150kg/m ³ ロス率…15%	kg	0.176
シール材	0.050*0.003*2.2*1600		
エポキシ樹脂シール材	シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m ³	kg	0.528
注入器具	2.2/0.25+1 取付間隔…250mm	本	10

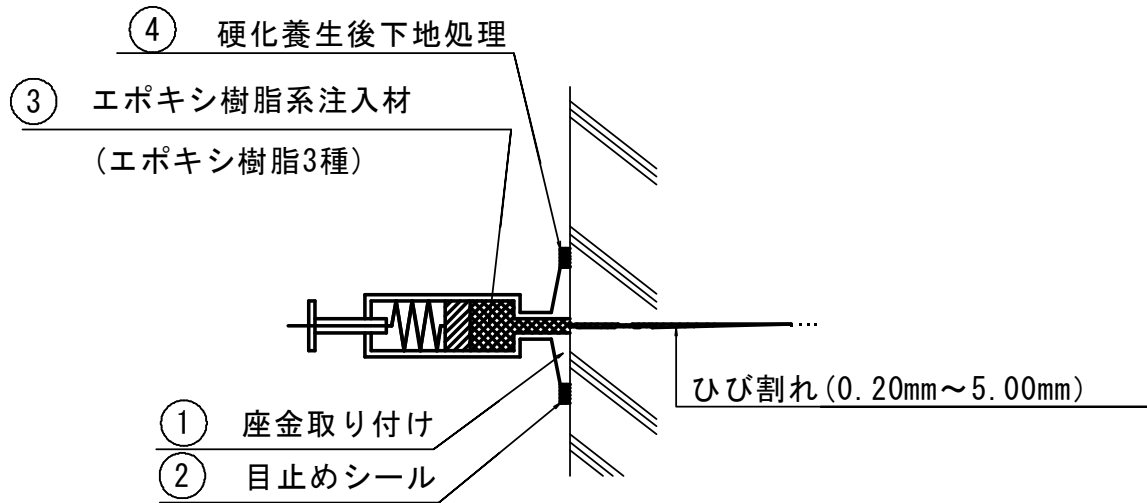
3-3 ひびわれ注入工 数量計算書

ひび割れ幅 0.2mm～0.9mm

1 橋当り

略 図

エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（上部工）橋面



※低圧注入器の取付ピッチは250mm (4個/m) を標準とする。
※注入深さは110mm程度を見込んでいる。

材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	4.90
注入材 エポキシ樹脂系注入材3種	0.00055*0.110*4.9*1150*1.15 ひび割れ幅…0.20～0.90mm（平均幅0.55mm） 平均注入深さ…110mm 材料密度…1150kg/m ³ ロス率…15%	kg	0.392
シール材 エポキシ樹脂シール材	0.050*0.003*4.9*1600 シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m ³	kg	1.176
注入器具	4.9/0.25+1 取付間隔…250mm	本	21

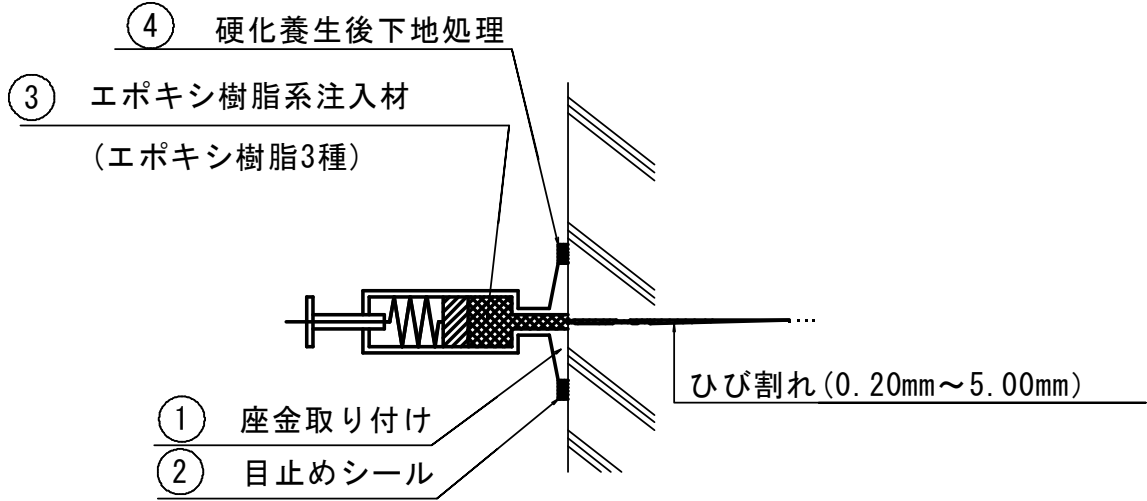
3-4 ひびわれ注入工 数量計算書

ひび割れ幅 1.0mm～1.9mm

1 橋当り

略 図

エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（上部工）橋面



※低圧注入器の取付ピッチは250mm(4個/m)を標準とする。
※注入深さは290mm程度を見込んでいる。

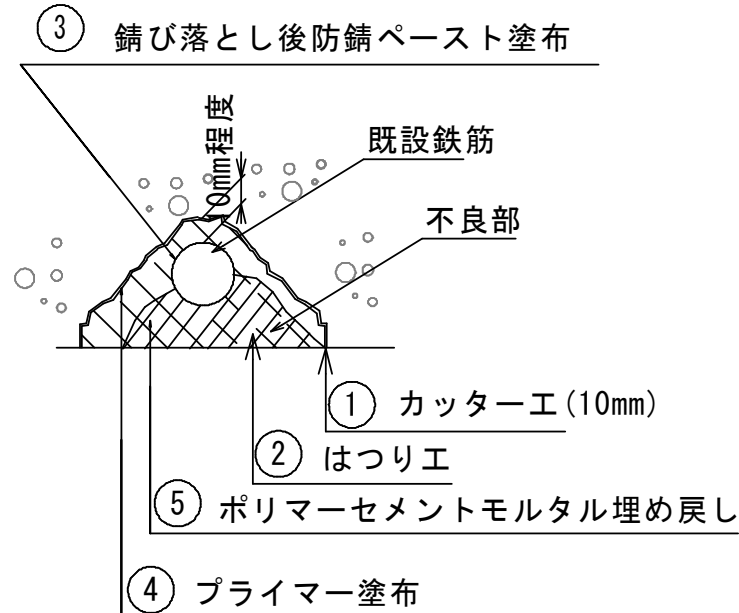
材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	2.80
注入材 エポキシ樹脂系注入材3種	0.00145*0.290*2.8*1500*1.15 ひび割れ幅…1.00～1.90mm（平均幅1.45mm） 平均注入深さ…290mm 材料密度…1500kg/m3 ロス率…15%	kg	2.031
シール材 エポキシ樹脂シール材	0.050*0.003*2.8*1600 シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m3	kg	0.672
注入器具	2.8/0.25+1 取付間隔…250mm	本	12

3-5 断面修復工 数量計算書

1 橋当り

略 図

脆弱部除去～断面修復 平均厚さ5cm (上部工) 床版
鉄筋あり



材料／規格	算 式	単 位	数 量
コンクリートはつり t=50mm		m2	6.250
殻運搬処理 コンクリート塊：無筋	6.25*0.05	m3	0.313
	0.313*2.35	t	0.736
断面修復工 モルタル復旧 ポリマーセメントモルタル t=50mm	0.313*1.18 ロス率…18%	m3	0.369
	0.369*1750 カタログより1m3当りの標準使用量…1750kg	kg	646

3-6 断面修復工 数量計算書

1 橋当り

略 図			
脆弱部除去～断面修復 平均厚さ5cm (下部工) 鉄筋なし カッター工 ① 不良部 はつり工 ② プライマー塗布 ③ ポリマーセメントモルタル埋め戻し ④			
材料／規格	算 式	単 位	数 量
コンクリートはつり t=50mm		m2	2.560
殻運搬処理 コンクリート塊：無筋	2.56*0.05	m3	0.128
	0.128*2.35	t	0.301
断面修復工 モルタル復旧 ポリマーセメントモルタル t=50mm	0.128*1.18 ロス率…18%	m3	0.151
	0.151*1750 カタログより1m3当りの標準使用量…1750kg	kg	264

4. 水切り設置工

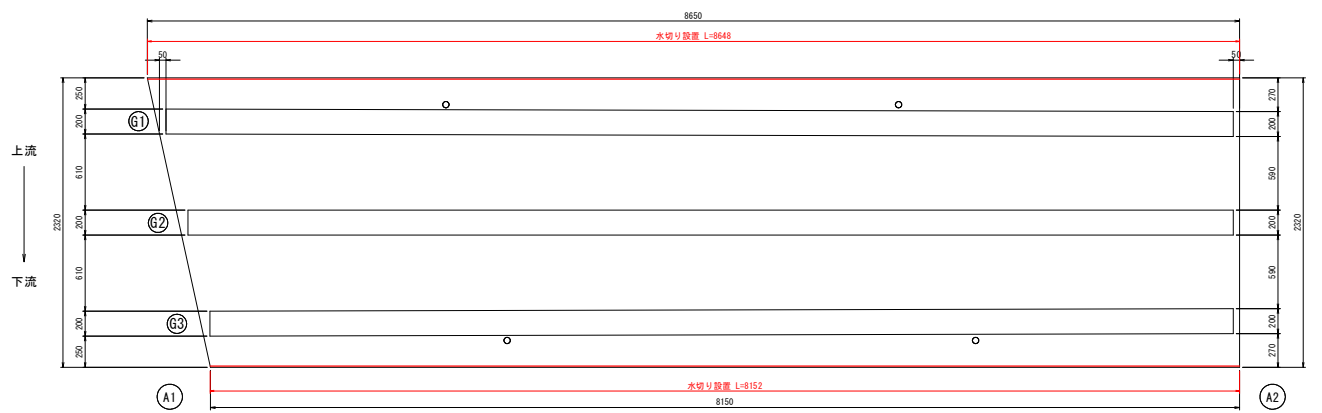
(1) 水切り工

ウォーターカッター相当品

$$L = 8.648 + 8.152 = 16.800$$

= 16.800 m

計 16.8 m



5.遊間止水工

数量表

名 称	品名又は仕様	単 位	数 量	備 考
遊間止水工	S Mジョイント (I 型)	m	3. 863	L=1. 973+1. 890
本体材料	特殊樹脂 (ウレタン系)	L	7. 46	V=3. 863m × 1. 93L /m
専用プライマー		mL	40. 52	V=3. 863m × 10. 49mL /m
バックアップ材		m	3. 863	L=1. 973+1. 890
既設撤去	コンクリート舗装取壊し	m ³	0. 004	0. 030 × 0. 035 × 3. 863 (0. 03 × 3. 863=0. 12m ²)
	Co殻運搬処理工	t	0. 009	比重2. 35t /m ³
		m ³	0. 004	
	アスファルト舗装切断	m	3. 863	L=1. 973+1. 890
	アスファルト舗装破砕	m ²	0. 115	3. 863x0. 03
	As殻運搬処理工	t	0. 009	比重2. 35t /m ³
		m ³	0. 004	0. 030 × 0. 035 × 3. 863

6. 防護柵取替工

(1) 撤去数量 (木製)

1) 親柱

$$V = \begin{array}{rcl} 0.25 & \times & 0.25 \\ + & 0.05 & \end{array} \times (1.09 + 2.35 \text{ kg/m}^2) \times 4 = 0.670 \text{ t}$$

2) 高欄支柱

$$V = \begin{array}{rcl} 0.01 & \times & 0.01 \\ \times & 22 & \end{array} \times 2.35 \text{ kg/m}^2 = 0.003 \text{ t}$$

3) 天端ビーム

$$V = \begin{array}{rcl} 0.12 & \times & 0.11 \\ + & 8.150 & \end{array} \times (8.650 + 2.35 \text{ kg/m}^2) = 0.521 \text{ t}$$

4) 中間ビーム

$$V = \begin{array}{rcl} 0.03 & \times & 0.10 \\ + & 8.150 & \end{array} \times (8.650 + 2.35 \text{ kg/m}^2) = 0.118 \text{ t}$$

5) 基礎

$$V = \begin{array}{rcl} 0.14 & \times & 0.115 \\ + & 8.150 & \end{array} \times (8.650 + 2.35 \text{ kg/m}^2) = 0.636 \text{ t}$$

合計 1.948 t

(2) 運搬処理工

1) 殻運搬

$$V = 1.948 / 2.35 = 0.83 \text{ m}^3$$

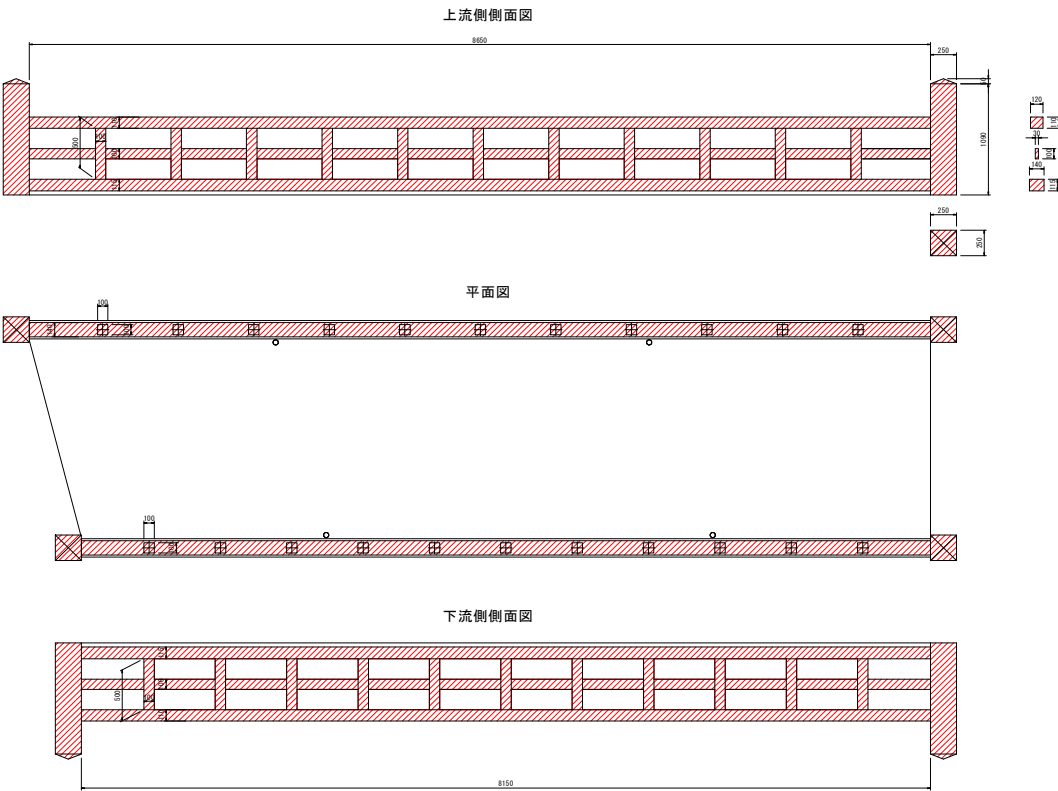
$$W = 1.95 \text{ t}$$

2) 殻処分

$$W = 1.95 \text{ t}$$

(3) 防護柵設置工

$$L = \begin{array}{rcl} 8.650 & + & 8.150 \\ \text{上流側} & & \text{下流側} \end{array} = 16.80 \text{ m}$$



7. 仮設工

7-1 片側朝顔防護足場

タイプE

$$A = 1.160 \times 6.600 \times 2 = 15.31 \text{ m}^2$$

柳橋 数量計算書

設計数量総括表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
橋梁保全					式	1	
	橋梁補修工				式	1	
		ひびわれ注工			式	1	
			エポキシ樹脂系	ひび割れ延長 平均幅 0.55mm	m	3.6	
			注入材	エポキシ樹脂系注入材3種	kg	0.288	
			シール材	エポキシ樹脂シール材	kg	0.864	
			注入器具		本	15	
		断面修復工			式	1	
			左官工法	コンクリートはつり 平均厚さ t=50mm	m2	1.450	
			ポリマーセメントモルタル	鉄筋ケレン,防錆処理を含む	m3	0.073	
			添え筋	SD345 異形棒鋼 D16	kg	2.81	
			Co殻運搬	無筋構造物 人力積込	m3	0.073	
			Co殻処分		t	0.172	
		水切り設置工			式	1	
			設置	ウォーターカッター相当品	m	17.0	
		橋面補修工			式	1	
			舗装打替え工	舗装版破碎 As舗装 t=50mm	m2	50.43	
				殻運搬 直接積込 As塊	m3	2.52	
				殻処分 がれき類	t	5.92	
				再生密粒度アスコン (20・ 再生材) 表層t=50mm	m2	50.43	
			橋面防水工	塗膜系加熱型防水層	m2	50.43	
				導水パイプ 車道用 φ18ステンレス製	m	18.80	
				成形目地材 セロシールSS同等品以上 t =5mm	m	16.90	
				端部目地処理 シルバーマッシュ同等品以 上	m	16.10	
			復旧工	区画線復旧 実線 30cm	m	2.57	

3. コンクリート補修数量集計表

[illegible]

3-1 上下部エコンクリート補修数量

(1) 上部工

位 置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)						ひびわれ充填工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)	
	0. 2mm～0. 9mm		1. 0～1. 9mm		2. 0～ 5. 0mm		d= 1cm		鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積	鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積
	m						m		m2	m3	m2	m3
床版下面1									0. 01			
2									0. 01			
3									0. 03			
4									0. 01			
5									0. 03			
6									0. 05			
7									0. 02			
8									0. 23			
9									0. 14			
10									0. 23			
11									0. 02			
12									0. 09			
13									0. 07			
14									0. 10			
15									0. 14			
16									0. 04			
17									0. 11			
18									0. 04			
19									0. 08			
小 計	0. 00		0. 00		0. 00		0. 00		1. 45	0. 00	0. 00	0. 00
小 計	0. 00		0. 00		0. 00		0. 00		0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

(2) 下部工

位 置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)						ひびわれ充填工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)		断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)	
	0. 2mm～0. 9mm		1. 0～1. 9mm		2. 0～ 5. 0mm		d= 1cm		鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積	鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積
	m						m		m2	m3	m2	m3
A1橋台1	0. 5											
2	0. 5											
3	0. 6											
4	0. 5											
A2橋台5	0. 2											
6	0. 5											
7	0. 5											
8	0. 3											
小 計	3. 60		0. 00		0. 00		0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

(3) 鉄筋工 (添え筋)

SD345 D16

$$W = 1.800 \times 1.56 \text{ kg/m} = 2.81 \text{ kg}$$

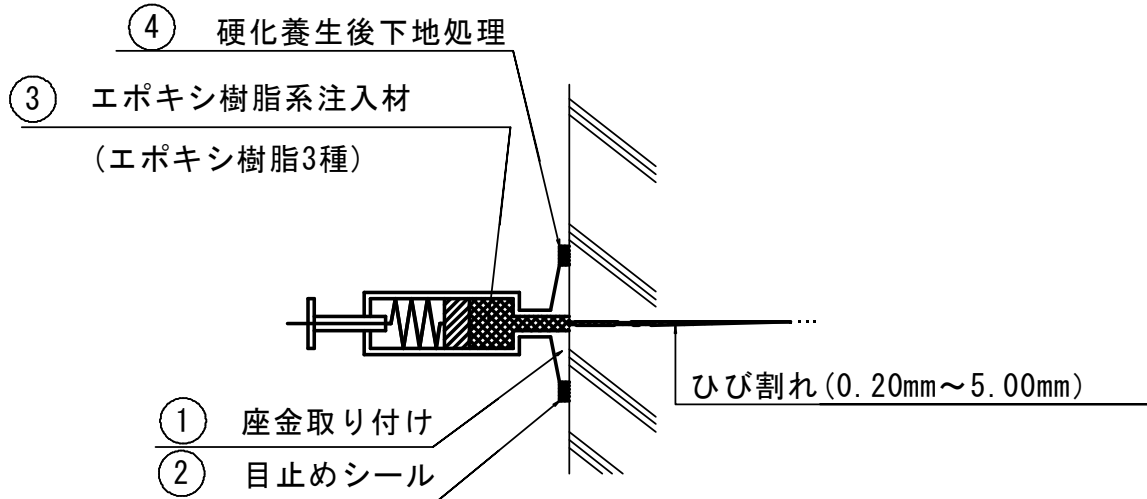
4. 4-1 ひびわれ注入工 数量計算書

ひび割れ幅 0.2mm～0.9mm

1 橋当り

略 図

エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（下部工）



※低圧注入器の取付ピッチは250mm (4個/m) を標準とする。
※注入深さは110mm程度を見込んでいる。

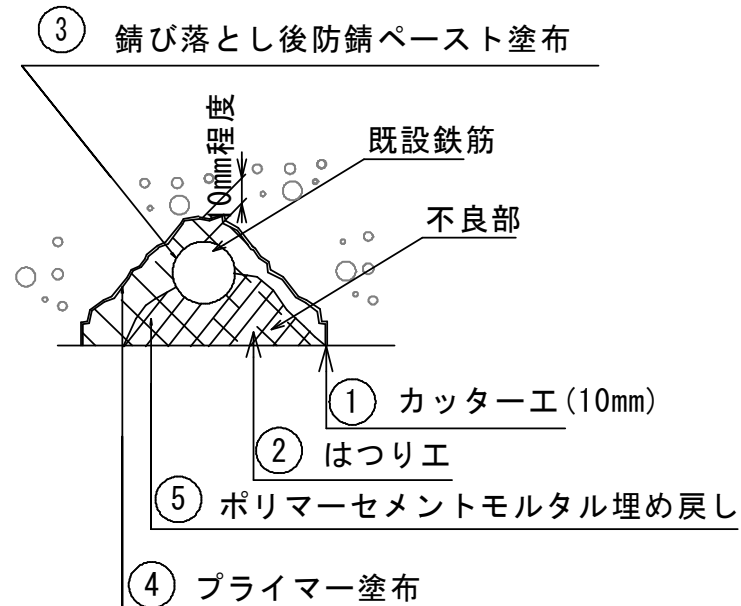
材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	3.60
注入材	0.00055*0.110*3.6*1150*1.15		
エポキシ樹脂系注入材3種	ひび割れ幅…0.20～0.90mm (平均幅0.55mm) 平均注入深さ…110mm 材料密度…1150kg/m3 ロス率…15%	kg	0.288
シール材	0.050*0.003*3.6*1600		
エポキシ樹脂シール材	シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m3	kg	0.864
注入器具	3.6/0.25+1 取付間隔…250mm	本	15

5. 5-1断面修復工 数量計算書

1 橋当り

略 図

脆弱部除去～断面修復 平均厚さ5cm (上部工) 床版
鉄筋あり



材料／規格	算 式	単 位	数 量
コンクリートはつり t=50mm		m2	1.450
殻運搬処理 コンクリート塊：無筋	1.45*0.05	m3	0.073
	0.073*2.35	t	0.172
モルタル復旧 ポリマーセメントモルタル t=50mm	0.073*1.18 ロス率…18%	m3	0.086
	0.086*1750 カタログより1m3当りの標準使用量…1750kg	kg	151

6. 水切り工数量計算

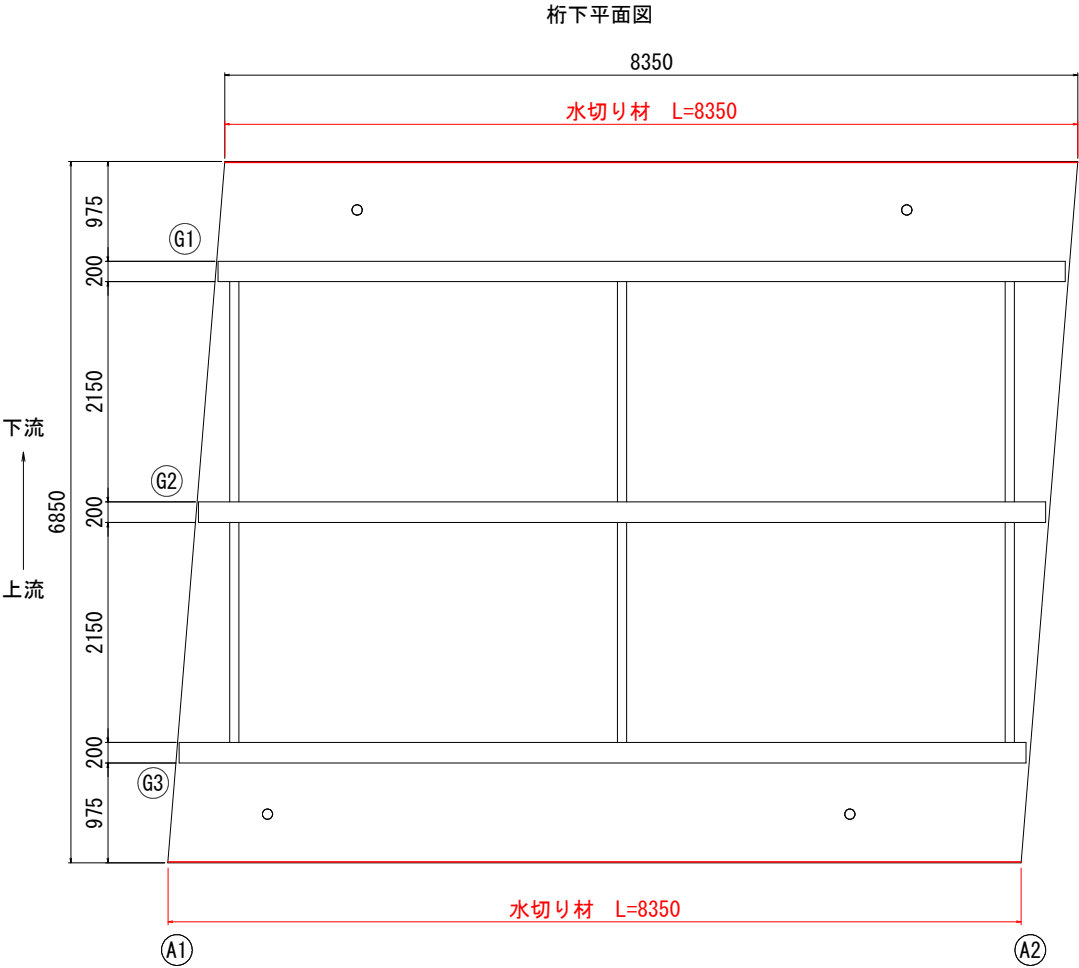
(1) 水切り工

ウォーターカッター相当品

$$L = 8.350 \times 2 \text{ 箇所} = 16.700$$

= 16.700 m

計 16.7 m



7. 橋面補修工

(1) 舗装版破碎工

直接掘削積込 (バックホウ0.45m³) , 舗装版厚 : 10cm以下

$$A = \text{CAD求積} = 50.43 \text{ m}^2$$

(2)

廃材運搬工

(既設アスファルト厚 : 5cm)

$$V = 50.4 \times 0.05 = 2.52 \text{ m}^3$$

(3)

廃材処分 As比重 23.5 kN/m³ $\div$ 2.35 t/m³

$$W = 2.52 \times 2.35 = 5.92 \text{ t}$$

(4) アスファルト舗装工

再生密粒度アスコン (20・再生材) 表層 : 5cm

$$A = \text{CAD求積} = 50.43 \text{ m}^2$$

(5) 橋面防水工

塗膜系加熱型防水層

$$A = \text{CAD求積} = 50.43 \text{ m}^2$$

(6) 導水ドレーン (φ18)

$$L = 17.90 \text{ m}$$

$$L = 17.9 \times 1.05 = 18.8 \text{ m}$$

(8) 成形目地材

$$L = 16.10 \text{ m}$$

$$L = 16.1 \times 1.05 = 16.9 \text{ m}$$

(9) 端部目地処理

$$L = 16.1 \text{ m}$$

(10) 区画線復旧工

1) 区画線復旧 実線 30cm

$$L = 2.57 \text{ m}$$